令和４年度　今治工業高等学校　シラバス

<table>
<tr><td>教　科</td><td>工　業</td><td>科　目</td><td>デザイン技術</td><td>単位数</td><td>２単位</td></tr>
<tr><td>学　科</td><td>繊維デザイン科</td><td>学　年</td><td>２学年</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td colspan="5">デザインに関わる造形理論や用具材料などの基礎知識を学ぶことで、実習における表現技術と制作意欲の向上を図る。
制作実習を通して、ビジュアルコミュニケーションデザインやプロダクトデザインなどの専門分野の知識を学び、デザインが持つ社会的意義を踏まえた制作姿勢を培う。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習内容</td><td colspan="3">学習項目</td><td colspan="2">評価規準【評価の観点】</td></tr>
<tr><td colspan="3">1　デザインの基礎
(1)　観察と表示
(2)　形態と構成の原理
(3)　色彩

2　ビジュアルコミュニケーションデザイン
(1)　グラフィックデザイン
(2)　レタリング（タイポグラフィー）
(3)　サインとシンボルマーク
(4)　広告デザイン
(5)　編集デザイン
(6)　印刷広告媒体の基礎知識について

3　プロダクトデザイン
(1)　生活とプロダクトデザイン
(2)　プロダクトデザインの領域
(3)　デザインプロセス
(4)　生活機器のデザイン
(5)　産業デザイン
(6)　モデルメーキング

4　クラフトデザイン
(1)　伝統工芸と現代　(2)　木
(3)　竹　(4)　漆
(5)　陶磁器　(6)　ガラス　(7)　七宝
(8)　紙　(9)　金属</td><td colspan="2">・表現の基礎であるデッサンの造形理論の理解を基に、実制作を通して観察力と表現力の伸長を図る。色彩についての理解を深め、様々な視覚効果を目的に合わせて選択、使用できる。【A・B・C・D】
・ビジュアルコミュニケーションデザインの知識を広げ、アートとの違いを明確にすることで、社会への関心を持つことができる。【A・B・C・D】
・レタリングの種類、視覚効果、スペーシングの理解とタイポグラフィーの制作を通して、構想力の向上を図ることができる。【A・B・C・D】
・サイン、シンボル、マークの知識と造形要素を理解し、実習を通して表現力を高めることができる。【A・D】
・プロダクトデザインの分類と境界領域製品の可能性について考えることができる。【A・D】
・ユニバーサルデザイン（障害がある生活者の視点）について考え、将来の生活像を高めることができる。（構造的機能美、生理的機能、心理的機能）【A・D】
・デザインプロセスを理解し、計画的な姿勢が持とうとしている。（コンセプト、アイデアスケッチ、レンダリング、スタディモデル、プレゼンテーション）【A・B・D】
・クラフトデザインにおける、材料や加工の方法を理解し、その歴史に触れ、工芸の様々な技法について知識を深めることができる。【A・B・D】</td></tr>
<tr><td>評価の観点</td><td colspan="5">【A】関心・意欲・態度　【B】思考・判断・表現　【C】技能　【D】知識・理解</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="5">課題、出席状況、授業態度・意欲による総合評価</td></tr>
<tr><td>教科書等</td><td colspan="5">デザイン技術（海文堂）</td></tr>
<tr><td>備　考</td><td colspan="5">学習項目を、主に実習を通して学習する。</td></tr>
</table>

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。